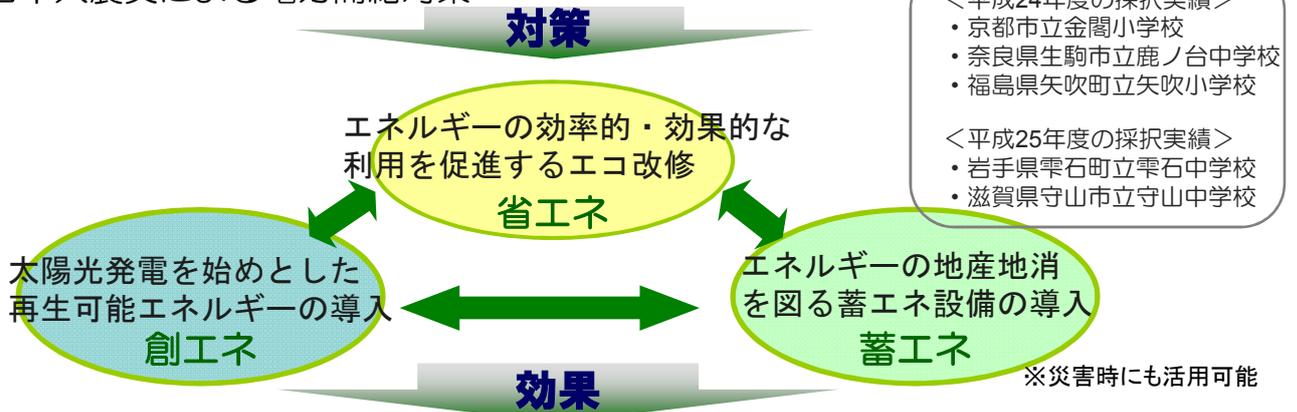


# スーパーエコスクール実証事業

～ 環境を考慮した学校施設の整備推進 ～

## ○ 背景

- ・ 建築後25年を経過し、エネルギー効率の低い、老朽化した学校施設が約7割
- ・ 地球温暖化対策として、温室効果ガスの削減が重要
- ・ 公立学校施設の面積は、公共施設全体の約4割を占める
- ・ 改正省エネ法に基づき、原則、教育委員会は省エネ計画の策定が必要
- ・ 東日本大震災による電力需給対策



## □ 環境教育への活用や地域への発信拠点に



窓・壁の断熱化の効果の体感  
(少しの暖房で暖かい)

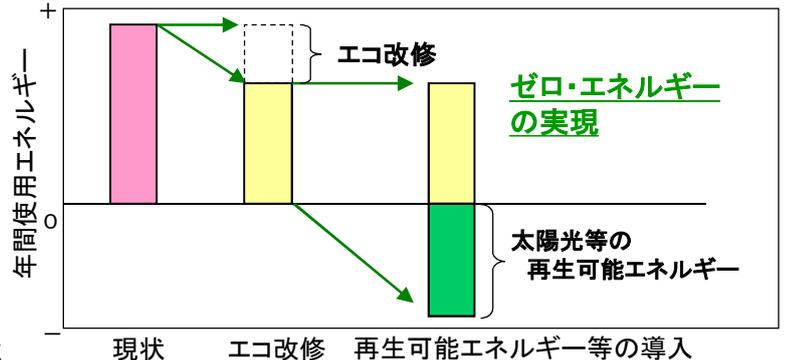


体感したことを生活に活かす  
(黒塗りペットボトルによるソーラー給湯器を自作し、これにより暖めたお湯を用いて掃除)



地元企業・NPOによる  
児童・地域住民向けの環境教育を実施

## □ 地球温暖化対策への貢献



## ○ スーパーエコスクール実証事業

### 3か年事業の初年度

#### 基本計画の策定



#### 【事業内容】

全国2地域程度の自治体において、学校設置者、学校関係者、地域住民、設計者等を交え、エコ改修・新增改築の内容に関するワークショップの実施

#### 【補助内容】

基本計画の策定に係る費用について財政支援 (10/10)

平成26年度予算額：10,304千円  
(平成25年度予算額：15,027千円)

### 3か年事業の2年目

#### 基本設計・実施設計の実施



#### 【事業内容】

初年度に実施したワークショップの結果を踏まえ、エコ改修・新增改築工事の基本設計と実施設計を実施

※ 設計費は工事費に算入

### 3か年事業の最終年度

#### エコ改修・新增改築工事の実施



#### 【事業内容】

実施設計に基づき、エコ改修・新增改築工事の実施

補助率 (H25' 時点)

(太陽光、風力、太陽熱の新エネルギー設備の導入、新增築) 1/2  
(上記以外) 1/3

【補助内容】 公立学校施設整備費による財政支援 (事業の優先採択・補助単価の加算)